

操作マニュアル

帳票への データ出力変更方法

matchingood confidential material.

最終更新日：2018年11月2日(金)



帳票設定ではマッチングッドに登録したデータを出力させることができます。

しかしながら、マッチングッドに登録しているデータとある帳票に出力する際にはデータ形式変更したいなど、帳票毎に様々な要望があるかと思います。

これはフォーマットとなるExcelに予め仕込んでおくことでデータ変更が可能であることもございますが、逐一フォーマットの修正が必要になります。

当マニュアルを参照頂ければ、より簡単に出力データ内容の変更設定が可能となりますので、お役に立てて頂けると幸いです。

※なお、Excelの関数の知識が必要な場合がございます。

操作手順

[4](#)

変更設定内容の記載について

デフォルト

[8](#)

単項目:文字列結合

[9](#)

単項目:出力形式変更

[10](#)

単項目:条件による制御

[11](#)

単項目:文字列の抽出

[12](#)

複数項目:基本

[17](#)

複数項目:文字列結合

[18](#)

複数項目:出力形式変更

[20](#)

複数項目:条件による制御

[22](#)

複数項目:文字列の抽出(数字抽出)

[24](#)

出力例:

[27](#)

1. 操作手順

基本的な「帳票設定」の操作の流れにつきましては、

- ・FAQページ【[帳票設定について教えてください](#)】

をご覧くださいませ。

その他、帳票設定に関するマニュアルやFAQページも併せてご参照くださいませ。

- ・マニュアル【[帳票設定の雛形ファイルにて行えるデータの加工方法](#)】
- ・FAQページ【[帳票設定でエクセルの式や関数は使用できますか](#)】

2. 操作手順

帳票の新規登録画面
もしくは
帳票の編集画面を開き、
マッチング項目と帳票項目を
紐付ける画面を開きます。

雑形ファイル[?]


[求人票\(旧\).xls 変更](#)

シート名[?]:

下へ
削除

ブック保護パスワード

項目[?]		セルアドレス[?]	操作
会社情報	会社番号	C3	削除
会社情報	会社コード	C3	削除
会社情報	会社名		削除
会社情報	かな		削除
会社情報	正式名称	E7	削除
会社情報	設立年	C8	削除
会社情報	資本金	E8	削除
会社情報	従業員数	C9	削除

「」アイコンを
クリックします。

トップに戻る

3. 操作手順

帳票 編集

帳票の種類	雛形ファイル[?]
求人票 ▼	求人票(旧).xls 変更

シート名[?]:

下へ
削除

ブック保護パスワード

画面上で出力データを変更設定できる項目が現れます。

項目[?]	セルアドレス[?]	操作
会社情報 ▼ 会社番号 ▼ ⚙	C3	削除
例) 年齢は[[項目]]歳です		
会社情報 ▼ 会社コード ▼ ⚙	C3	削除
会社情報 ▼ 会社名 ▼ ⚙	C6	削除
会社情報 ▼ かな ▼ ⚙	C7	削除
会社情報 ▼ 正式名称 ▼ ⚙	E7	削除
会社情報 ▼ 設立年 ▼ ⚙	C8	削除
会社情報 ▼ 資本金 ▼ ⚙	E8	削除

トップに戻る

4. 操作手順

帳票編集

帳票の種類: 求人票
雑形ファイル[?]: 求人票(旧).xls 変更

項目[?]

項目	会社情報	会社番号	操作
[項目] [改行]	会社情報	会社番号	C3 削除
	会社情報	会社コード	C3 削除
	会社情報	会社名	C6 削除
	会社情報	かな	
	会社情報	正式名称	
	会社情報	設立年	
	会社情報	資本金	

記入欄に出力する内容を記載します。

この「項目差込」ボタンと「改行差込」ボタンをクリックすると、左部のような内容のタグが追記されます。

同手順で、他項目にも内容を記載したら、帳票設定画面下部の「保存」ボタンをクリックします。

トップに戻る

1. 変更設定内容の記載について - デフォルト

何も変更しない場合、

[[項目]]

項目差込

改行差込



または

=[[項目]]

項目差込

改行差込



と書き記すことで、何も書かない場合と同等の出力となります。

1. 変更設定内容の記載について - 単項目:文字列結合

例えば、『年齢』に「歳」を結合して出力したい場合、

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「年齢」を
プルダウンより選択します。

項目[?]

スタッフ ▼

年齢 ▼



[[項目]]歳

項目差込

改行差込



または

= "[[項目]]歳"

項目差込

改行差込



と書き記すことで、想定通りの出力となります。

1. 変更設定内容の記載について - 単項目:出力形式変更

例えば、『誕生日』を「2018年5月31日」という形式で出力したい場合、

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「誕生日」をプルダウンより選択します。

項目[?]

スタッフ ▼

誕生日 ▼



=TEXT("[[項目]]", "yyyy年m月d日")

項目差込

改行差込



と書き記すことで、想定通りの出力となります。

※なお、何も出力に加工しなかった場合、誕生日は「0000/00/00」というハイフン(/)区切りのかたちで出力されます。

1. 変更設定内容の記載について - 単項目:条件による制御

例えば、『誕生日』にデータがない場合、

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「誕生日」をプルダウンより選択します。

項目[?]

スタッフ

誕生日



=TEXT("[[項目]]", "yyyy年m月d日")

項目差込

改行差込



と書き記すことで、「0000年0月0日」と出力されます。

従って、データがない場合は出力しないようにすることも可能です。

=IF("[[項目]]"="0000-00-00", "", TEXT("[[項目]]", "yyyy年m月d日"))

項目差込

改行差込



※全文は

「=IF(("[[項目]]"="0000-00-00", "", TEXT(("[[項目]]", "yyyy年m月d日")))」

結果、データがある場合、「2018年5月1日」形式、データがない場合は空欄になります。

1. 変更設定内容の記載について - 単項目:文字列の抽出

文字列の抽出をしたい場合は、
一定のルールで記載されていることが条件となってきます。

例えば、『名前』から姓のみを抽出したい場合、

- ①姓と名の間は半角スペースが必ずあること
 - ②姓と名は必ず1文字以上の文字であること
 - ③姓、名という順番で記載すること
- というルールがあるとします。

【サンプル】『名前』:田中 太郎

この場合、
『名前』の1文字目から半角スペースの前まで
となります。

2. 変更設定内容の記載について - 単項目:文字列の抽出

先の内容を式で表すと以下の通りとなります。

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「名前」をプルダウンより選択します。

項目[?]

スタッフ ▼

名前 ▼



=MID("[[項目]]", 1, FIND(" ", "[[項目]]")-1)

項目差込

改行差込



MIDは何文字目から何文字抽出するという関数なので、
上述した『名前』の1文字目から半角スペースの前までを満たしていることとなります。

3. 変更設定内容の記載について - 単項目:文字列の抽出

前ページの式だけでなく、以下のように記載することも可能です。

```
=LEFT("[[項目]]", FIND(" ", "[[項目]]")-1)
```

項目差込

改行差込



LEFTは先頭から何文字分抽出するという関数なので、こちらでも抽出可能です。

このように正解は一つではありません。

4. 変更設定内容の記載について - 単項目:文字列の抽出

なお、『名前』から名のみを抽出したい場合は、
『名前』の半角スペースの後から最後までなので、

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「名前」をプルダウンより選択します。

項目[?]

スタッフ ▼ 名前 ▼

`=MID("[[項目]]", FIND(" ", "[[項目]]")+1, LEN("[[項目]]")-FIND` 項目差込 改行差込 ✕

※全文は

「=MID (" [[項目]] ", FIND (" ", " [[項目]] ") +1, LEN (" [[項目]] ") -FIND (" ", " [[項目]] "))」

という式になります。

5. 変更設定内容の記載について - 単項目:文字列の抽出

前ページの式だけでなく、以下のように記載することも可能です。

```
=RIGHT("[[項目]]", LEN("[[項目]]")-FIND(" ", "[[項目]]"))
```

項目差込

改行差込



という式でも想定通りの抽出が可能です。

1. 変更設定内容の記載について - 複数項目:基本

こちらは結合する際に特に何も加工する必要がないのであれば、セル番号を同じにするだけで実現可能です。

ブック保護パスワード

項目[?]		セルアドレス[?]
スタッフ ▼	コード	C3
スタッフ ▼	名前	C3

結合して出力させたい項目を同一の出力先セルにします。

上から順に結合されたかたちで出力されます。

具体的に言いますと、
『コード』に「MGCS」、『名前』に「山田太郎」が記載されているとした場合、
C3セルへの出力は「MGCS山田太郎」という出力結果になります。

1. 変更設定内容の記載について - 複数項目:文字列結合

例えば、『登録日時』と『番号』の間に「_」を入れたい場合、

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「登録日時」をプルダウンより選択します。

セルアドレス[?]



スタッフ

登録日時

"[[項目]]_"

「スタッフ」項目の「番号」をプルダウンより選択します。

行差込

スタッフ

番号

&"[[項目]]"

項目差込

改行差込

C3

結合して出力させたい項目を同一の出力先セルにします。

C3

このようにすることで、C3セルへの出力は「2018-04-05_5」といった形式で出力されます。

2. 変更設定内容の記載について - 複数項目:文字列結合

先の式の内容を詳しく記載しますと、

最終的な式:=" [[項目]]_&" [[項目]] "

= " [[登録日時]]_&" [[番号]] "

= "2018-04-05_&" 5 "

= "2018-04-05_5 "

以上の流れで、出力されています。

1. 変更設定内容の記載について - 複数項目:出力形式変更

例えば、『登録日時』を「20180405」と「-」なしの形式で出力したい場合、

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「登録日時」をプルダウンより選択します。

セルアドレス[?]

スタッフ ▼ 登録日時 ▼

=TEXT("[[項目]]","yyyymmdd")&"_"

スタッフ ▼ 番号 ▼

&"[[項目]]"

項目差込 改行差込

結合して出力させたい項目を同一の出力先セルにします。

このようにすることで、C3セルへの出力は「20180405_5」といった形式で出力されます。

2. 変更設定内容の記載について - 複数項目:出力形式変更

先の式の内容を詳しく記載しますと、

```
最終的な式:=TEXT(" [[項目]] ","yyymmdd") &"_"&" [[項目]] "  
=TEXT(" [[登録日時]] ","yyymmdd") &"_"&" [[番号]] "  
=TEXT("2018-04-05","yyymmdd") &"_"&"5"  
="20180405"&"_"&"5"  
="20180405_5"
```

以上の流れで、出力されています。

1. 変更設定内容の記載について - 複数項目:条件による制御

例えば『番号』より『コード』を優先させ、『コード』にデータがある場合は『コード』を、『コード』にデータがない場合は『番号』を出力したい場合、

ブック保護パスワード

セルアドレス [2]
↓ ↑

スタッフ	登録日時	
=TEXT("[[項目]]","yyyymmdd")&"_"		改行差込
スタッフ	コード	
&IF("[[項目]]"<>"","[[項目]]"		改行差込
スタッフ	番号	
,"[[項目]]")		項目差込 改行差込

「スタッフ」項目の「登録日時」をプルダウンより選択します。

「スタッフ」項目の「コード」をプルダウンより選択します。

「スタッフ」項目の「番号」をプルダウンより選択します。

結合して出力させたい項目を同一の出力先セルにします。

2. 変更設定内容の記載について - 複数項目:条件による制御

前ページのようにすることで、
『コード』のデータがある(m4)場合、C3セルへの出力は「20180405_m4」となり、
『コード』にデータがない場合、
C3セルへの出力は「20180405_5」といった形式で出力されます。
※『番号』は「5」という前提です。

先の式の内容を詳しく記載しますと、

```
最終的な式:=TEXT(" [[項目]] ","yyyymmdd") & "_"&IF(" [[項目]] "<>""," [[項目]] "," [[項目]] ")  
=TEXT(" [[登録日時]] ","yyyymmdd") & "_"&IF(" [[コード]] "<>""," [[コード]] "," [[番号]] ")  
=TEXT("2018-04-05","yyyymmdd") & "_"&IF("m4"<>"","m4","5")  
="20180405"&"_"&"m4"  
="20180405_m4"
```

以上の流れで、出力されています。

1. 変更設定内容の記載について - 複数項目:文字列の抽出(数字抽出)

例えば『コード』から数字のみを抽出したデータのみを対象に『コード(数字)』にデータがある場合は『コード(数字)』を、『コード(数字)』にデータがない場合は『番号』を出力したい場合、

ブック保護パスワード

「スタッフ」項目の「登録日時」をプルダウンより選択します。

セルアドレス [2]

スタッフ 登録日時

=TEXT("["[[項目]]","yyyymmdd")&"_"

「スタッフ」項目の「コード」をプルダウンより選択します。

スタッフ コード

&IF(LOOKUP(10^17,LEFT("["[[項目]]",COLUMN(\$1:\$1))*1)<>"",

「スタッフ」項目の「番号」をプルダウンより選択します。

スタッフ 番号

,"["[[項目]]")

項目差込 改行差込

結合して出力させたい項目を同一の出力先セルにします。

C3

C3

C3

2. 変更設定内容の記載について - 複数項目:文字列の抽出(数字抽出)

※コード部分の全文は

```
「&IF(LOOKUP(10^17,LEFT(" [[項目]] ",COLUMN($1:$1))*1)<>"",  
LOOKUP(10^17,LEFT(" [[項目]] ",COLUMN($1:$1))*1)」
```

前ページのようにすることで、

『コード』のデータがある且つ数字が含まれる(m4)場合、B3セルへの出力は「20180405_4」になり、

『コード』のデータがあるが数字が含まれない(m)場合、B3セルへの出力は「20180405_5」になり、

『コード』にデータがない場合、B3セルへの出力は「20180405_5」となります。

※『番号』は「5」という前提です。

3. 変更設定内容の記載について - 複数項目:文字列の抽出(数字抽出)

先の式の内容を詳しく記載しますと、

```

最終的な式:=TEXT(" [[項目]] ", "yyymmdd") & "_ "
&IF (LOOKUP (10^17,LEFT (" [[項目]] ",COLUMN ($1:$1)) *1) <>"",
LOOKUP (10^17,LEFT (" [[項目]] ",COLUMN ($1:$1)) *1), " [[項目]] ")
=TEXT (" [[登録日時]] ", "yyymmdd") & "_ "&IF (LOOKUP (10^17,LEFT (" [[コード
]] ",COLUMN ($1:$1)) *1) <>"", LOOKUP (10^17,LEFT (" [[コード
]] ",COLUMN ($1:$1)) *1), " [[番号]] ")
=TEXT ("2018-04-
05", "yyymmdd") & "_ "&IF (LOOKUP (10^17,LEFT ("m4",COLUMN ($1:$1)) *1) <>"",
LOOKUP (10^17,LEFT ("m4",COLUMN ($1:$1)) *1), "5")
="20180405"& "_ "&IF ("4" <>"", "4", "5")
="20180405"& "_ "& "4"
="20180405_4"
    
```

以上の流れで、出力されています。

1. 出力例①複数の料金情報を入力する場合

求人案件 勤務時間① (テキストボックス1)

①早番 [[項目]] 項目差込 改行差込

料金情報 請求料金 料金種別 (時給/日給/月給)

=[[項目]] 項目差込 改行差込

料金情報 請求料金 基本単価

&VALUE("[[項目]]"*1.15&"円") 項目差込 改行差込

求人案件 勤務時間② (テキストボックス2)

②中番 [[項目]] 項目差込 改行差込

料金情報 請求料金 料金種別 (時給/日給/月給)

=[[項目]] 項目差込 改行差込

料金情報 請求料金 基本単価

&"[[項目]]"円" 項目差込 改行差込

求人案件 勤務時間③ (テキストボックス3)

③遅番 [[項目]] 項目差込 改行差込

料金情報 請求料金 料金種別 (時給/日給/月給)

=[[項目]] 項目差込 改行差込

料金情報 請求料金 基本単価

&VALUE("[[項目]]"*1.25&"円") 項目差込 改行差込

「自由項目設定」にて作成した項目です。

	A	B	C	D
1				
2				
3				①早番 6:00~12:00
4				時給 1725円
5				②中番 12:00~17:00
6				時給 1500円
7				
8				③遅番 17:00~23:00
9				時給 1875円
10				
11				

【ポイント】

求人案件には料金情報一種類のみしか出力対象とできないため、複数の料金情報を入れる場所として、事前に自由項目設定をしておく必要があります。

また、派遣項目等、一部のデータは帳票設定項目の対象外となります。

1. 出力例②写真を出力する場合

帳票 編集

帳票の種類	雛形ファイル[?]
スタッフ票 ▼	

シート名[?]: Sheet1 削除

ブック保護パスワード

項目[?]	セルアドレス[?]	操作
スタッフ ▼ 写真 ▼ ⚙	B2	削除 追加

中止 保存

[その他のヒント](#)

	A	B	C	D
1				
2				
3				

【ポイント】

出力先のセルサイズに依存したかたちで写真は出力されます。
事前に雛形上で写真に合わせて設定をしておく必要があります。

1. 出力例③チェックボックス項目を改行ではなく、「,」で区切り1行出力させる場合

帳票編集

帳票の種類: 求人票 雛形ファイル

シート名: Sheet1 削除

ブック保護パスワード

項目	セルアドレス	操作
求人案件 求人案件のチェックボックス (チェックボックス7)	B2	削除
求人案件 求人案件のチェックボックス (チェックボックス7)	B4	削除

`=SUBSTITUTE("[[項目]]",CHAR(10),"")` 項目差込 改行差込 X

追加

中止 保存

シートの追加

[その他のヒント](#)

	A	B	C	D	E	F
1						
2		選択肢A 選択肢B 選択肢C' 選択肢D' 選択肢E				
3						
4		選択肢A, 選択肢B, 選択肢C', 選択肢D', 選択肢E				
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						

【ポイント】

B2セルの出力値が通常のチェックボックスでの出力、B4セルの出力値が1行での出力をさせたものです。

《=SUBSTITUTE (“ [[項目]] ”,CHAR (10),“_”)》の「,」部分が区切り文字になっているので、「/」区切りにしたい場合は《=SUBSTITUTE (“ [[項目]] ”,CHAR (10),“/”)》等、都合にあわせて変更してください。

1. 出力例④改行をさせた状態で出力する場合

The screenshot shows a software interface for editing a document. A section titled "その他スキル" (Other Skills) is highlighted with a red dashed box. It contains the following text:

他の言語スキル
【ドイツ語】
日常会話程度(2011年4月～2014年3月 留学)
【イタリア語】
日常会話程度(2014年4月～2017年3月 留学)

Below this is a "帳票編集" (Form Editing) section with various settings. An orange arrow points from the red dashed box to a spreadsheet cell (B2) containing the same text with line breaks:

	A	B	C	D	E
1		【ドイツ語】 日常会話 程度 (2011年4 月～2014 年3月 留 学)			
2		【イタリア 語】 日常会話 程度 (2014年4 月～2017 年3月 留 学)			
3					
4					
5					

【ポイント】

引用予定の項目内で改行したまま帳票設定を行うと、改行されたままの状態です。ただし、改行が項目内で行える項目の種類は「テキストエリア」のみです。

1. 出力例⑤特定条件時に空白表示させる場合

項目	セルアドレス
スタッフ 直近職歴(会社名)	B2
スタッフ 直近職歴(入社年月)	B3
=TEXT("{{項目}}","yyyy年mm月")&"~"	B3
スタッフ 直近職歴(退社年月)	B3
&IF(TEXT("{{項目}}","yyyy年mm月")="-","",TEXT("{{項目}}","yy	B3
スタッフ 前の職歴(会社名)	B5
スタッフ 前の職歴(入社年月)	B6
=TEXT("{{項目}}","yyyy年mm月")&"~"	B6
スタッフ 前の職歴(退社年月)	B6
&IF(TEXT("{{項目}}","yyyy年mm月")="-","",TEXT("{{項目}}","yy	B6

中止 保存

	A	B	C	D	E
1					
2		株式会社スモールカンパニー			
3		2010年04月~			
4					
5		株式会社中規模カンパニー			
6		2000年04月~2010年03月			
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

【ポイント】

※コード部分の全文は「&IF(TEXT("{{項目}}","yyyy年mm月")="-","",TEXT("{{項目}}","yyyy年mm月"))」
 マッチングッド内にて空白のままデータ登録を行っている場合、エラーが発生し、想定通り出力が行えません。そのため、関数を用いることでエラーを回避しています。